

「在日外国人親子の医療に関する研究調査」

關口芽以・高柴由佳・佐藤永愛・荒井典美・足立緋彩（慶應義塾大学 看護医療学部 4年）

〔研究調査の概要〕

近年、国内では在日外国人数が増加している。それに伴い、彼らの抱える健康や社会的孤立等の問題も注目され、長期的な視点での受け入れ・共生に向けて外国人親子に対する施策の強化も検討されている。そこで今回、私たちは健康への関心向上や異文化への適応に着目し、在日外国人親子を含む地域の交流や日本文化の体験を目的に夏祭りを開催しているクリニックの活動内でフィールドワークを行い、健康への興味・関心の向上や日本文化に触れることが出来るようなワークショップを実施した。ここでは、ワークショップと夏祭り全体における親子の反応についてまとめ、関わり意義を検討し、今後の地域における在日外国人親子の支援について考察したため報告する。

〔活動内容〕

・夏祭り全体の内容

ワークショップ、盆踊り、スイカ割り、花火など（開催目的は同上。）

表1：ワークショップの内容

項目	盆踊り	紙芝居	筋肉模型作り	心音の聴取体験	提灯の絵付け
内容	皆で身体を動かす楽しさを感じ、日本文化に触れることが出来るよう親しみやすいドラえもん音頭を踊った。	身体の動く仕組みについて、関心や理解に繋げられるよう、筋肉・心臓・血液について紙芝居で説明し、食事や運動の大切さについて知識提供を行った。	身体の動く仕組みについてイメージしやすくするため、可視化出来る工夫をした。また愛着を持てるように、子ども主体の模型作りを行った。	紙芝居で説明をした心音を、実際に聴取することで関心や理解に繋げられるよう、教育用のステートを用いて行った。	周囲の人と楽しみながら日本文化に触れることが出来るよう、好きな道具を使って自由に絵付けを行った。

・ワークショップの目的

自己の健康や生活習慣に関心を持ってもらうこと、親子で地域に住む人々や医療者と交流すること、また日本文化に触れ親しみを持つきっかけを作ること。

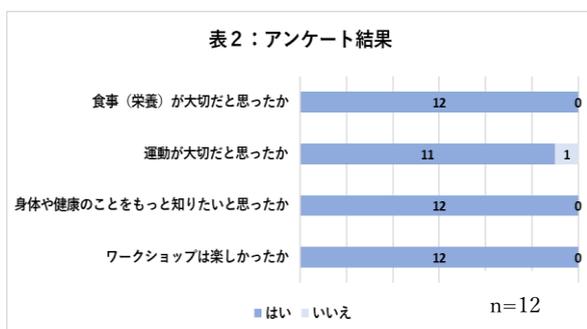
・ワークショップの内容と対象者の選定

実施方法と対象者については、先行研究を参考にし、今回は身体の動く仕組みに焦点を当て、子どもたちが身体について関心を持ち大切にしたいと思え、尚且つ他者と交流しつつ日本文化にも触れられるように表1の内容を実施した。また終了後、任意のアンケート調査を行った。

対象は生活習慣の確立が始まる幼児期から学童期の子どもとし、グループワーク効果を検討して15名×2回の30名を上限と設定した。ポスター掲示やリーフレットの配布（近隣のインターナショナルスクールや在日外国人のコミュニティ）、HP・SNSでの広報によりリクルートを行った。

[研究調査の結果と今後の活用]

当日は 29 名の参加があった。その内 12 名からアンケートの回答 (表 2) が得られた (回収率 41%)。



・実際の親子の様子や感想

紙芝居や筋肉模型の作成中、「心臓の大きさは大人になると大きくなるの?」「筋肉モリモリになる方法は?」などと積極的な質問が聞かれ、自身の身体やその仕組み、健康に関心を持っている様子があった。また今回のワークショップの主な内容とは少し離れるが、感染に関する質問もあり、日頃から子どもたちが身体や健康に関心を持っていることも分かった。これらの結果から、今回のワークショップは、子どもたちが日頃から持っている身体や健康に関する興味・関心を知識へと繋げられる場になったと考えられる。

加えて、ワークショップ中に親子で一緒に模型を作成している様子や、数名の親から「家でも作ってみたいから作り方を確認したい。」という質問があった。そこから、親にも介入してもらうことで、一時的ではなく、家での継続した健康行動や生活習慣獲得への取り組みにも繋がったのではないかと考えた。今後はワークショップ後の生活で、食事や運動への関心や取り組みなどに影響があったか、継続的な評価にも取り組んでいきたい。

・夏祭り全体を通して

夏祭り全体を通しては、クリニックがこのような活動をしてくれると思っておらず、身近な存在に感じることができた等の意見が聞かれ、このような活動を続けることは、地域の親子が医療を身近に捉えるきっかけに繋がると考えた。

また、盆踊りやスイカ割り等に参加している子どもたちが、一緒に生き生きと遊んでおり、そこから COVID-19 の蔓延により希薄になっていた子どもたち同士の関わりも、このような活動を通して活発にしておくことが出来るのではと考えた。

・今後への課題

今回、夏祭り・ワークショップ共に、在日外国人親子の参加の割合が少なかった。その原因として、リクルートにおいて、期間が短かったことや広報対象が限られていたこと、使用言語が英語のみだったことが考えられた。今後は今回の成果及び改善案を活かし、事前に環境調査 (住民の国籍等も含む) を詳細に行い、より多くの在日外国人の親子にも参加してもらえるよう工夫し実施していきたい。

[謝辞] この度は、研究調査を行うための準備及び実施に必要となる費用をご支援頂き、誠に有難うございました。また、参加者の皆様、フィールドワークの機会を下さったクリニックの皆様に、こころより深く感謝を申し上げます。



図 1: 紙芝居(筋肉)



図 2: 紙芝居(脈)